



9th・阪急 ええはがき コンテスト

～海外の人に教えたい！とっておきの場所～

入賞作品集

目次

第9回阪急ええはがきコンテスト ～海外の人に教えたい！とっておきの場所～ について……………	1
最優秀賞 写真部門……………	2
最優秀賞 絵画部門……………	3
学生優秀賞……………	4
大阪ええはがき研究会賞……………	5
審査員賞 写真部門……………	6
審査員賞 絵画部門……………	7
エリア賞(神戸線賞)……………	8
エリア賞(宝塚線賞)……………	9
エリア賞(京都線賞)……………	10
秀作賞……………	11
佳作 神戸線……………	15
佳作 宝塚線……………	21
佳作 京都線……………	26
阪急ええはがきコンテストの軌跡……………	34
審査員の先生方からのメッセージ……………	42

※作者名にPNと付記した方はペンネームです。

ごあいさつ

地域(まち)の魅力を再発見し、発信するイベント「阪急ええはがきコンテスト」。

9回目となる今回は、阪急電鉄全線の地域を対象に、テーマを「海外の人に教えたい！とっておきの場所」といたしました。

日常風景の中の魅力を切り取った写真や絵画など、約800点のご応募がありました。

応募者の皆様方からは、海外へ向けた、「日本の絶対に知ってもらいたい場所である！」という思いが強く感じることができました。写真として絵画として技術が素晴らしいもの、コメントと作品が一体となり何度も見直してしまうもの、審査員の先生方が熱い議論を重ねた結果、見事選出されたのが、この作品集でご紹介する67作品です。

この作品集を通じて、地域の魅力を再発見し、訪問のきっかけとしていただければ幸いです。

阪急電鉄株式会社
2018年12月

阪急ええはがきコンテストのホームページでは、今回のコンテストの全入賞作品の「ええはがき」がダウンロードできます。また、過去8回〈2010年 宝塚線・箕面線沿線〉〈2011年 今津線沿線〉〈2012年 京都〉〈2013年 京都線part2〉〈2014年 京都線part3&千里線沿線〉〈2015年 神戸線・伊丹線・甲陽線〉〈2016年～あの人に伝えたい、阪急沿線の日常～〉〈2017年～阪急沿線の美しく、幸せいっぱいな風景～〉の「ええはがき」もダウンロードすることができます。



ホームページURL
<http://www.hankyu.co.jp/eehagaki/>

第9回 阪急ええはがきコンテスト

～海外の人に教えたい！とっておきの場所～について

募集作品

地域（まち）の魅力を写真や絵で切り取り、作者の思いと地図を添えて発信する「ええはがき」。今回は「海外の人に教えたい！とっておきの場所」をテーマに、阪急全線地域を対象に作品を募集。思い出の中の風景等を対象にした作品や、組作品の応募も可。

作品募集期間

2018年4月1日～8月31日

対象エリア

全線

賞

最優秀賞 写真部門	1作品	大阪ええはがき研究会賞	1作品
最優秀賞 絵画部門	1作品	エリア賞	各1作品
学生優秀賞	1作品	(神戸線賞・宝塚線賞・京都線賞)	
審査員賞 写真部門	1作品	秀作賞	4作品
審査員賞 絵画部門	1作品	佳作	54作品
※歴史・思い出賞の該当作品はありません。		計67作品	



審査員

有野永霧先生（写真家）、井上正三先生（画家）、杉本容子先生（大阪ええはがき研究会）

関係組織・団体

主催：阪急電鉄株式会社
 共催：阪急阪神ホールディングス株式会社
 後援：大阪府、京都府、兵庫県
 協力：大阪ええはがき研究会、株式会社阪急アドエージェンシー

▶ ええはがきとは…

ええはがきは、「大阪ええはがき研究会」が提唱するまちの魅力を発信する絵はがきのこと。写真やスケッチに加え、作者の思いを伝えるコメント、撮影・スケッチした場所の地図が載っているのが特徴です。

ええはがきの3つの楽しみ方

見て楽しむ

この作品集を見て、沿線のええポイントを再チェック！お気に入りの作品はWebからダウンロードしよう！

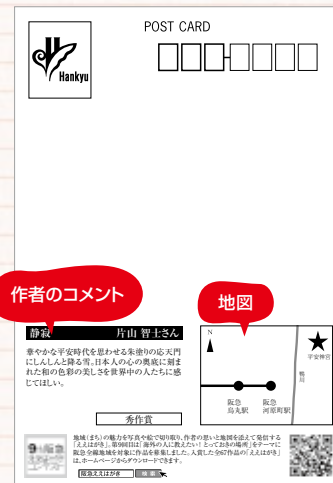
行って楽しむ

ええはがきを片手にまちの魅力を探しに行ってみよう！

送って楽しむ

ええはがきはもちろん、はがきとして活用OK！あなたの周りの人に送って、まちの魅力を発信してみよう！

写真・スケッチなど



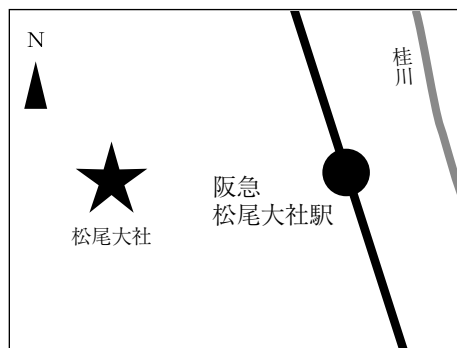


うちの子泣いてるよー

羽嶋 和子さん

メッセージ:

八朔祭の催しの祭りの一つで相撲大会や、赤ちゃんの土俵入りがあり、泣き相撲の様に力士さんに抱かれて土俵にころがされて泣く赤ちゃんと家族の方の嬉しそうな姿を撮りました。



審査員
講評

泣き相撲は、子どもが元気な声で泣けば泣くほど幸が来る、という催事です。子どもの健康と成長を祈願する日本の伝統行事。神聖な土俵に素足をつけることにより災いや悪霊を払いのけると伝えられています。この作品の良さは、構図と物語性にあります。しっかりした大人の足をトンネル構図で見せ、元気に泣く子どもを中心におき、さらにバックに家族の満足げな顔まで写し込んでおり、この三位一体のバランスの良さによって何とも言えない充実した画面作り已成功しています。外国人がこの写真を見て可哀そうなことをしているように感じるかも知れませんが、良く知ると日本の催事の深い意味に興味を魅かれるのではないのでしょうか。(有野永霧先生)

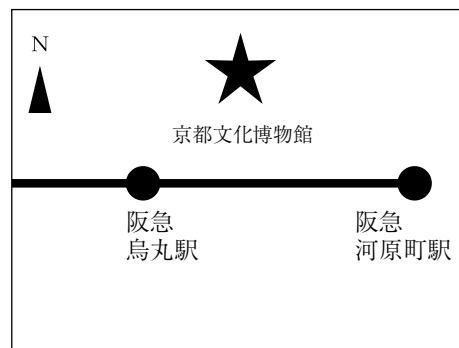


京都文化博物館

井貫 百合恵さん

メッセージ:

そそり立つ威風堂々とした佇まい、明治建築の意匠を凝らした真髄を海外の人にも肌で感じてもらいたい。



審査員
講評

明治時代、日銀京都支店として建てられたこのレンガ建築は三条通のランドマークですが、この建築の美しさと威厳を前にするとどうしてもスケッチしたくなる衝動はよく分かります。三条通の雑踏とこの建物の容姿がよい角度で表現され、空の高さと手前の影が奥行きをうまく作っています。洋風建築を果敢に取り入れた日本の当時の知恵と技術力を海外の人に伝えたい気持ちに共感します。(井上正三先生)

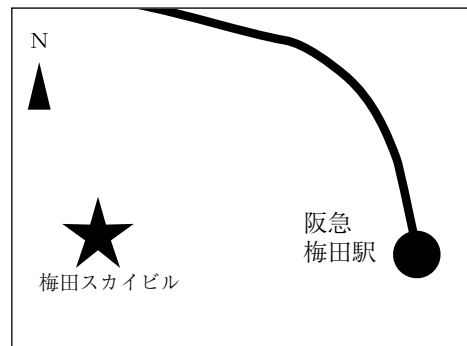


特等席

馬場 理子さん

メッセージ:

昔、私が観光客として大阪を訪れた時、空中庭園のいびつなたてものに衝撃をうけた。そして大阪に住む今、念願叶って大切な親友と二人、見下ろした“大阪”は言葉にならないほどの美しさだった。



審査員
講評

見た瞬間、「んんん?」と見返してしまう不思議な感覚。昔の作者の衝撃と、今親友と再訪している感動と、まちの未来までもが複層しているよう。作者と大阪のまちとの関わり方が変わり、大阪のまちも変わる。人とまちが時間を経て変わっていく様を、若々しい感性で画像として瞬間的に捉えている作品です。作者の未来、大阪のまちの未来に期待します。(杉本容子先生)

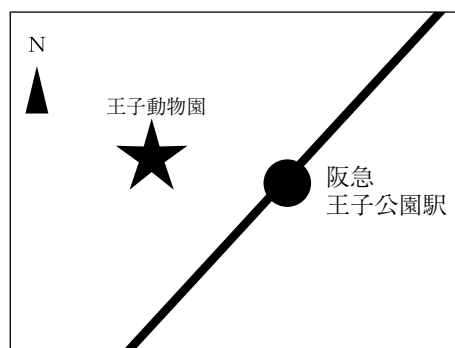


ようこそここへ

谷川 智恵さん

メッセージ:

桜はまだ咲きはじめの頃、花を求めて園の奥へ奥へ、すると素敵な洋館とカバ像に会い思わずカメラを向けました。旧ハンター邸を背に自慢げな様子に、クスツと笑っちゃいました。



審査員 講評

「自慢げな様子に、クスツと笑っちゃいました」はい、全くその通りです。見た瞬間にクスツと笑ってしまいました。作者と見る人が同じ気持ちになれる、同じようにまちを体感できる、素晴らしい作品だと思います。文句なしの大阪ええはがき研究会賞。一発で決定しました。これからも楽しい気持ちでまちを見つめ続けていただければ嬉しいです。(杉本容子先生)

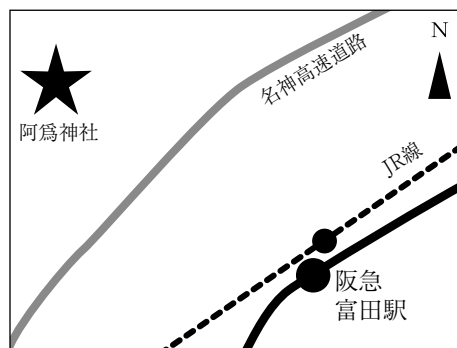


蹴鞠

大山 照美さん

メッセージ:

毎年11月、秋の収穫に感謝する新嘗祭の儀にあわせて蹴鞠が奉納されます。小さな神社ですが地域の人々や外国の方々も見学に来られますので皆様にご紹介させていただきます。



審査員 講評

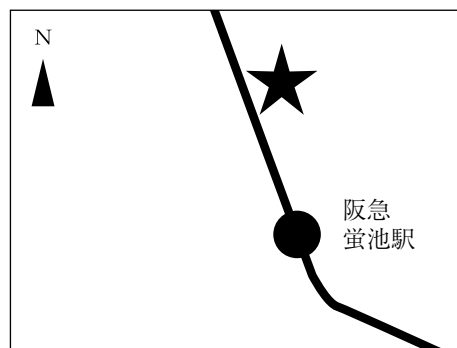
中国から伝えられたという蹴鞠を楽しんでいる人達。由緒ある毬庭という庭園の広場で蹴鞠をしている。古式にのっとって演技をする人や、周りを囲んで観賞する人が俯瞰されて見事に映し出されている。アングルだけでなくシャッターチャンスも良く、登場人物の配置も完璧に近いといえましょう。すべての中心となる主役の毬も絶妙な位置で止められており、全体を引き締めており、画面の完成度を高めている。この作品を見るだけで「蹴鞠」のすべてを説明できるだけの情報量の多い写真であるといえよう。これほど堂々とした見せ方で、一つの催事を語りきる写真は稀有である。(有野永霧先生)



僕らの夏バテ解消法 HOLERT JANさん

メッセージ:

日本の夏。全てが溶けるような、空気が揺らぐような。でも、そんな暑い中にも一時の涼があり、街角には安らぎがある。そして人々はそれらを慈しむ。そんな雰囲気を母国の友人に伝えたくて、この絵を描きました。



審査員
講評

この二人は多分、兄と妹でしょうか。精一杯、手を伸ばして飲み物を取ろうとする兄、それを傍で見上げながらじっと待つ妹。二人の姿は兄弟愛に包まれています。蛍池駅の雑踏が一瞬、静まり、自販機のカチャンという音が聞こえてくるような透明な空気感、そして安堵に包まれた兄と妹の笑顔が浮かんでくるようです。温かい作品に心を打たれました。(井上正三先生)

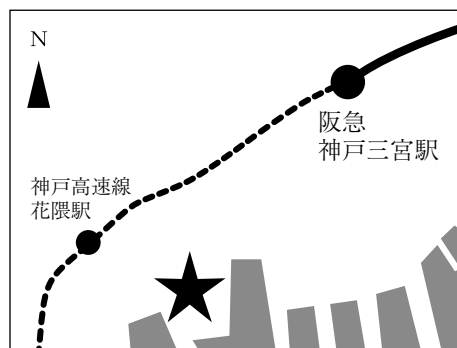


水柱華

岡田 忠良さん

メッセージ:

今年、メリケンパークに噴水が新しく設置され、夜になると噴水が彩られ、新たな夜景が誕生しました。



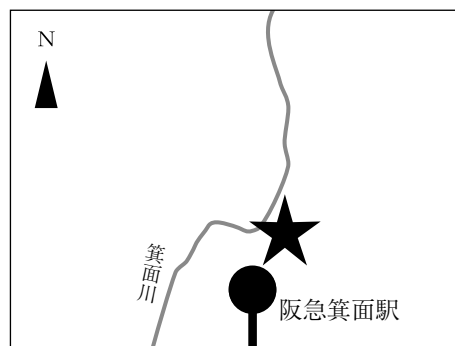


箕面の滝道

濱松 奨さん

メッセージ:

天空のホテルにようこそ。箕面駅から徒歩5分。大阪が一望できる箕面温泉。ビルと街が大好きな僕の自慢の景色です。この眺めは無料です。お気軽におこしください。



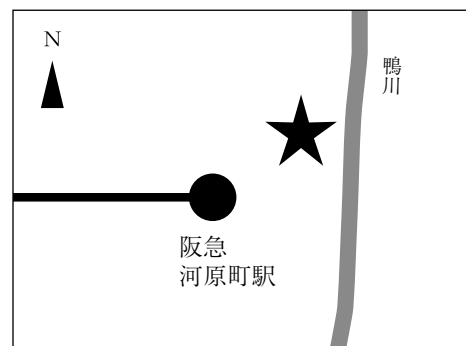


京の夏色

土屋 哲さん

メッセージ:

京都の祇園祭を撮影しました。祇園祭の魅力の一つが山鉦のカラフルな装飾です。海外の方にはこの色を見て京都の夏を感じていただければと思います。



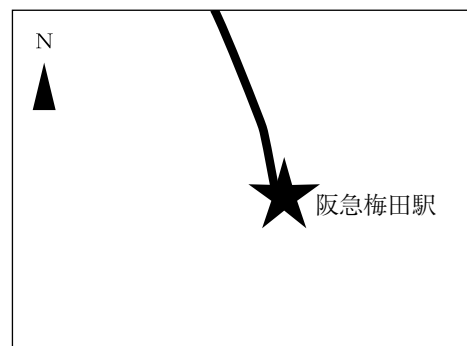


紫陽花の咲く終点駅

辻 光彦さん

メッセージ:

阪急梅田駅に着くと四季を色々な花飾りで彩る美しい風景に目をみはる。梅雨入り頃の花はアジサイである。七色に輝く光景は人々の心をなごませる。終着駅は朝の出発点。さあ、今日も頑張るぞ。



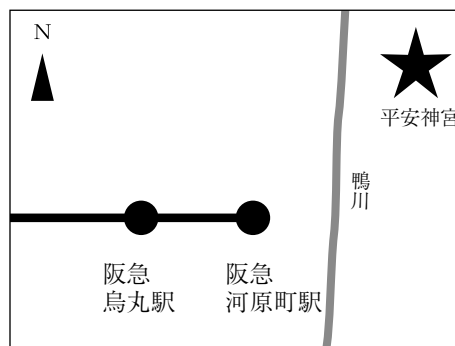


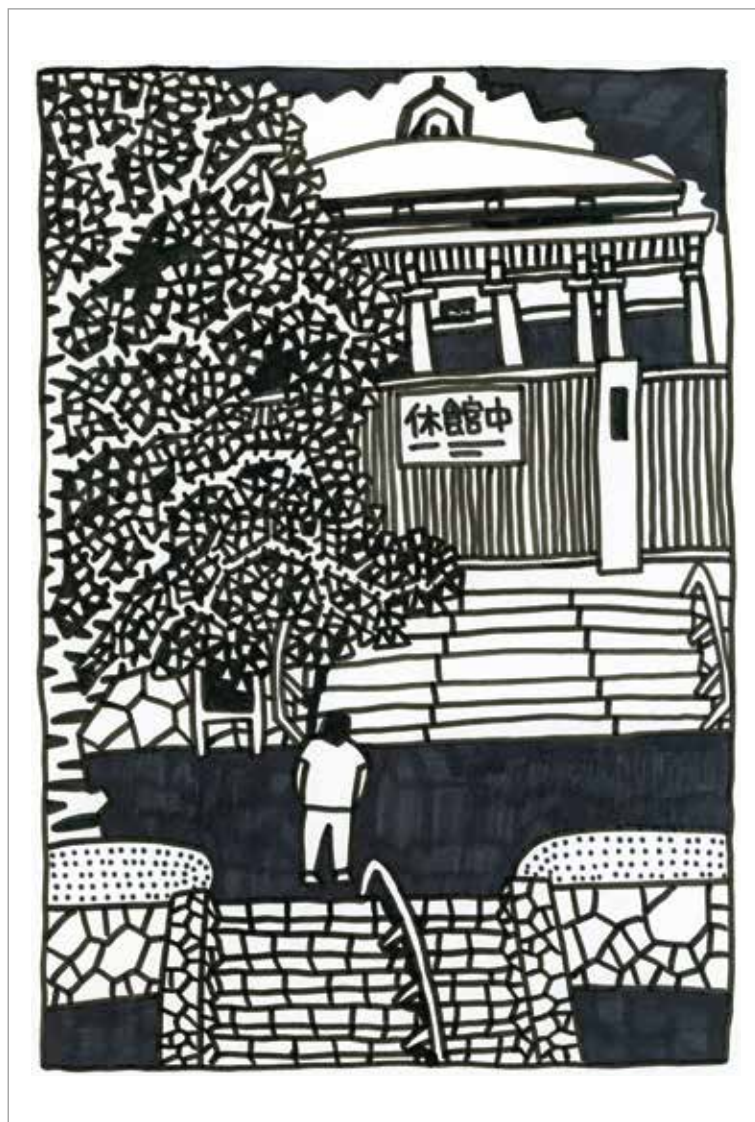
静寂

片山 智士さん

メッセージ:

華やかな平安時代を思わせる朱塗りの応天門にしんしんと降る雪。日本人の心の奥底に刻まれた和の色彩の美しさを世界中の人たちに感じてほしい。



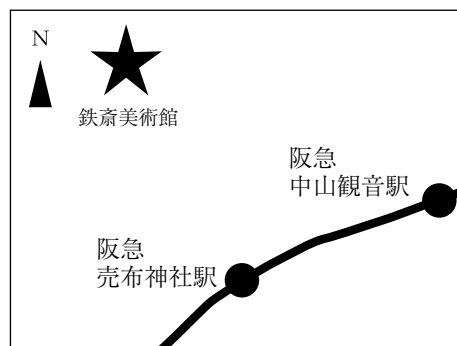


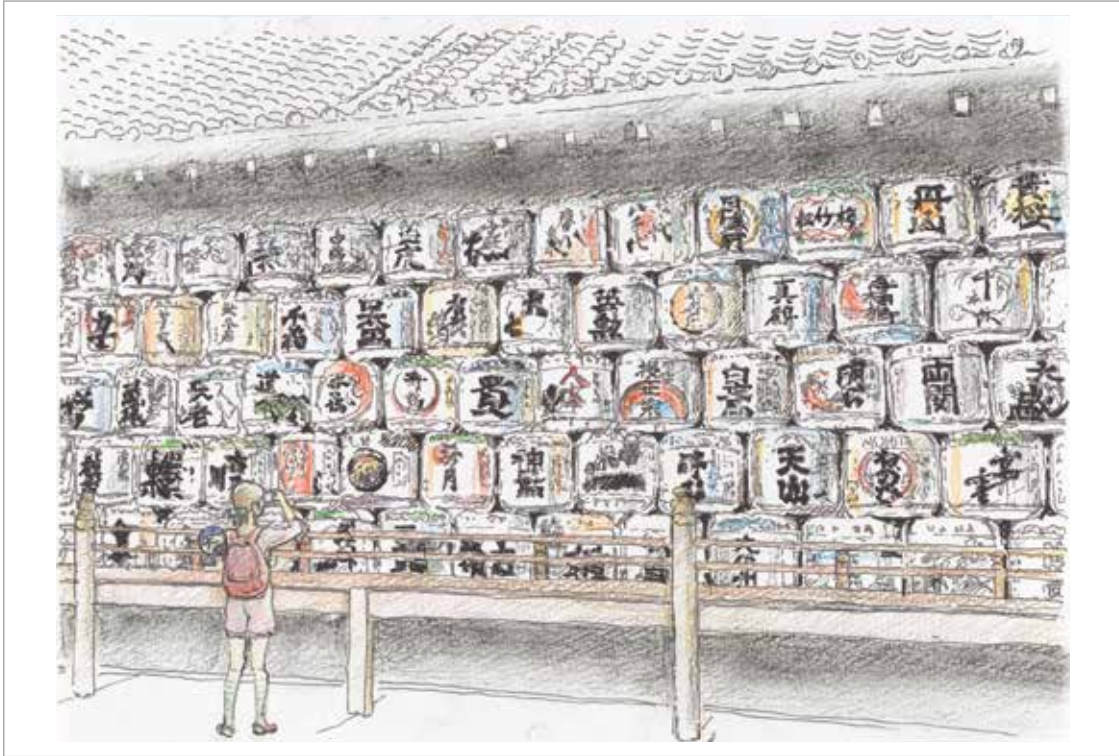
富士山を見に行こう

中村 勇人さん

メッセージ:

山門まで来るとあと少し、そのまま真っ直ぐ行くと鉄斎美術館が見えてきます。そこに富士山図が2点あります。個人的にはこれほど力強い富士山の絵はないでしょう。が、只今休館中でした。10月20日からだそうです。



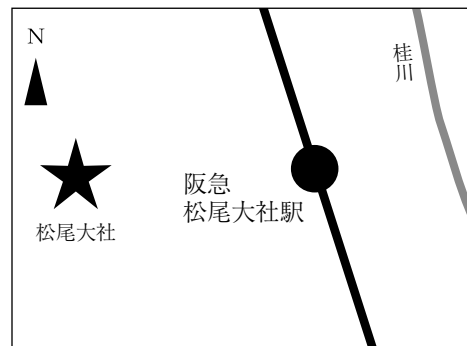


松尾大社の酒樽

竹川 タダトシさん

メッセージ:

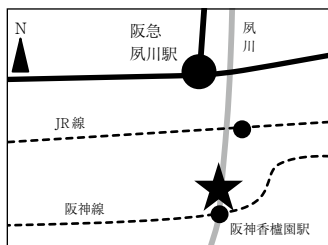
近年海外で日本酒ファンが増加中とか。ここ松尾大社境内で全国の蔵元から奉納された酒樽がズラリ見られます。その積み上げられた光景は圧巻！眼でも日本文化が味わえますよ。



皐月の空

瀧澤 俊彦さん

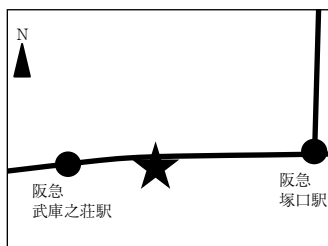
メッセージ:一般家庭で鯉のぼりがよく掲げられるようになったのは、私の育った年代の暫くのちの頃と記憶していますが、昨今の子供たちは端午の節句って…何！昭和も遠くなりけり。この風景は、懐かしくもあり&寂しくもあり。



春色への入口

稲田 裕介さん

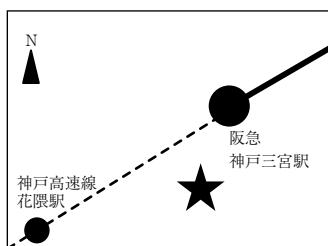
メッセージ:毎年日本人に春の訪れを知らせてくれる桜。そんな春色撮りたさに阪急電車へ。車窓を流れるピンク色のアーチに心踊ります。桜と、そこに一色添えながら快走するマルーン色の阪急のコラボをまったりと眺めてみては。



望郷アベニュー

藤井 治さん

メッセージ:神戸市立博物館へボストン美術館の至宝展を妻と観に行った帰りに、お洒落でシックなこの街路をスケッチ。正面は教会風のレストラン。初冬のヨーロッパの街並みを思わせる景色に外国人は郷愁にかられることだろう。

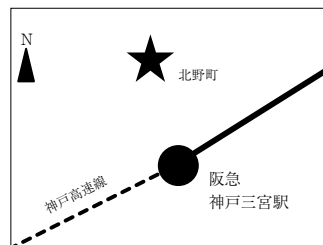




華やぐ夜空

岡田 忠良さん

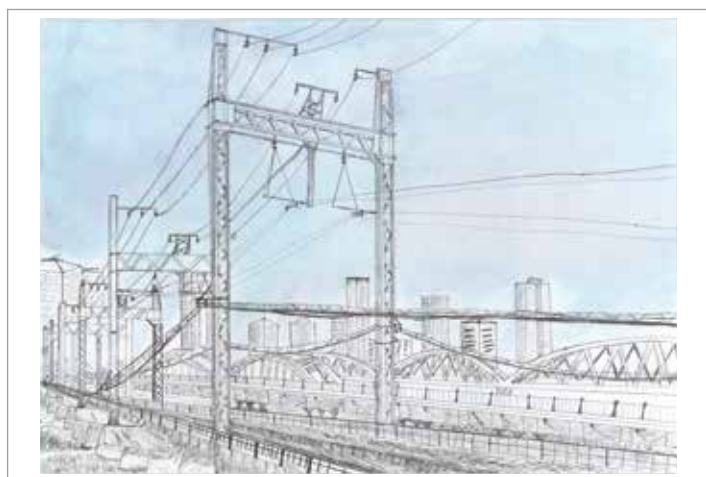
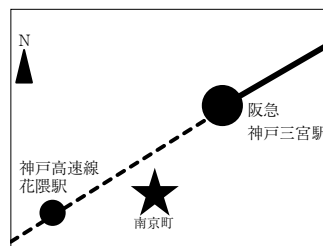
メッセージ:みなとこうべ海上花火大会を、海辺で見るともいいですが、三宮のビルの上に打上がる花火もいいものです。



日本の中華街

水上 毅さん

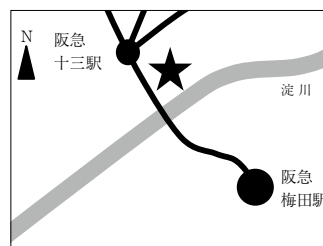
メッセージ:神戸の中華街である南京町は、建物や看板の文字も日本離れた趣がたっぷりと感じられ、非日常感がある。



望郷

華仙(PN)さん

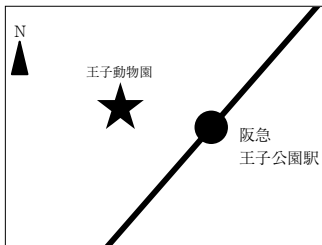
メッセージ:新しい世界への不安と故郷を思う気持ち。



見学

大林 直喜さん

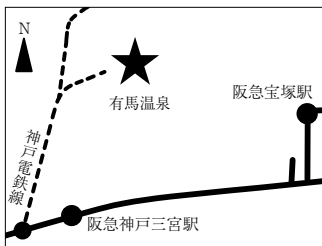
メッセージ:神戸王子動物園は連日多くの園児や子供達でにぎわう。特にゾウ舎での見学風景はほほえましい。早朝の光の中で。



有馬温泉の正月

西村 俊裕さん

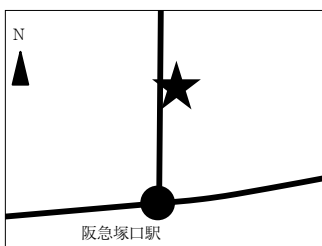
メッセージ:毎年正月2日に行われる温泉初湯式に向う行列です。温泉寺から有馬小学校内の催場まで湯を運ぶパレードがあります。芸者、湯もみ女など多勢がパレードします。時々外国人留学生などの参加もあります。



思い出つなく伊丹線

堂本 司さん

メッセージ:日本国内をつなぐ伊丹空港を利用する際に便利な阪急電鉄伊丹線を、海外の方にも旅行の際に、ぜひ利用してほしいという思いも込めて、電車の後方上空を、飛行機が旋回しながら上昇する風景を、切り絵で表現しました。

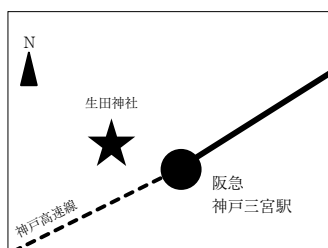




みこし巡行

岡田 忠良さん

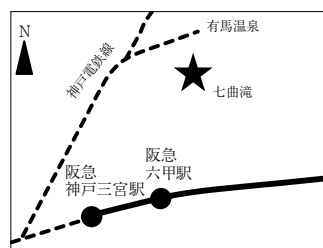
メッセージ:生田神社の神幸祭。生田ロードでみこしの巡行が行われました。



凍てつく滝

佐藤 宣夫さん

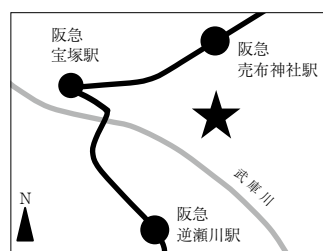
メッセージ:有馬四十八滝の一つ「七曲滝」が見事に凍った!見上げると氷柱が一勢に襲いかかって来るような感覚に思わず身震いが。



小浜の首地蔵

高橋 市吉さん ながよし

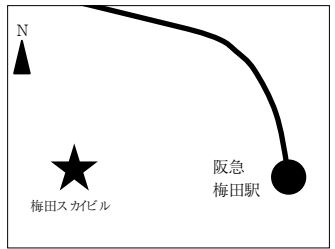
メッセージ:いつ造られたか、なぜ首だけなのか、よくわかっていませんが首から上の病気を治してもらえる地蔵さんとしていこしへより全国から参拝者が集まったそうです。民話もあり、訪れる人に歴史のロマンを感じさせる所です。





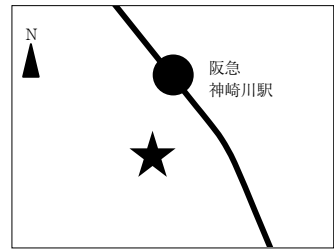
上を見てごらん **中尾 恵一さん**

メッセージ:梅田スカイビルは、竣工から25年経っても、まったく新鮮さが失われていない大阪の各所で、行くたびに新発見がある楽しい街です。



赤ちょうちんの灯る頃 **辻本 英明さん**

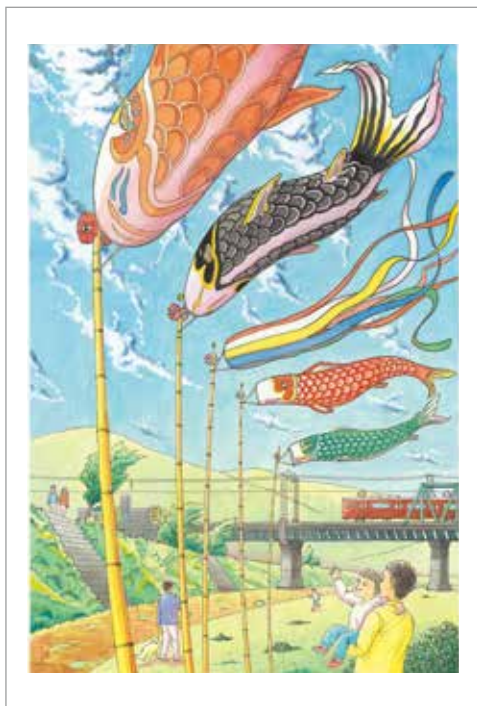
メッセージ:この辺は、昔ながらの繁華街が色濃く残っていて、ここを通ると、日本の古い感覚が取りもどせる場所で、好きなところですよ。



優駿1 **秋津 哲則さん**

メッセージ:日曜日の休日は家族で阪神競馬場に馬を見に行きませんか。レースを買って当たったら駅前の中華料理を食べよう。

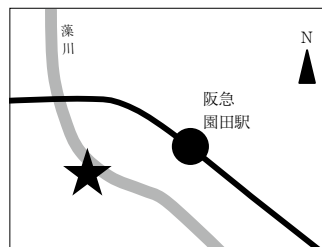




五月の空広がる

竹之内 克己さん

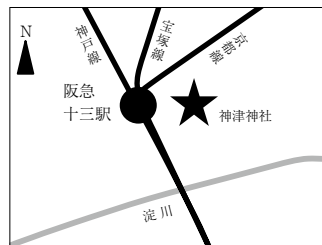
メッセージ:毎年「こどもの日」前後に立てられる“鯉のぼり”を走ってくる電車を背景に堂々と気持ち良く泳いでいる様子を描きました。



十三戎の催し

藤本 勉さん

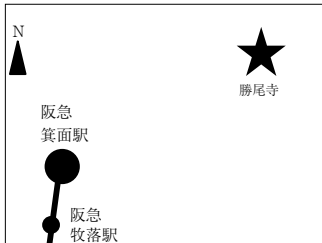
メッセージ:今年、初めて十三戎で福笹を授かってきました。その時境内で観た傘回しです。こういう昔ながらの催しは心温まります。いつまでも続けていただきたいものです。



天空の水鏡

芝埜 彰さん

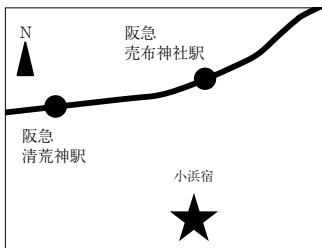
メッセージ:勝尾寺には、広い敷地に大きな池があり、風がやんだ瞬間、水面には、青空と山の緑が大きく映し出されて、境内全体が中空に浮かんだように見えることがあります。空に近いところにあるお寺に、ふさわしい景観です。



小浜宿

かおり(PN)さん

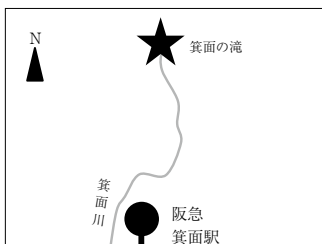
メッセージ:私の住む町の日常のふとした美しい光景を伝えたい、そんな思いで小浜宿をスケッチしました。右側に井川家住宅、奥には小浜皇大神社。ぜひ海外の方にも歩いていただきたいです。



滝口に魅せられて

taka(PN)さん

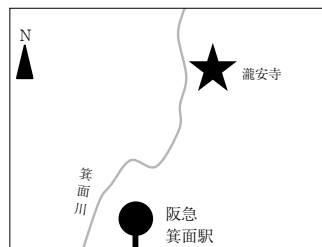
メッセージ:こちらは箕面公園内にある箕面の滝です。有名な観光名所で多くの観光客が訪れます。この滝と赤い橋の組み合わせが大変美しく、気に入っている場所です。四季折々で様々な風景を楽しめる場所で大変おすすめです。





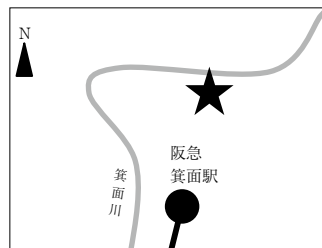
ご利益ありますように 川井 敏生さん

メッセージ:年に三回行われる大護摩供養、巨大な炎の中にご利益を願って経木を投げ入れる様は圧巻です。



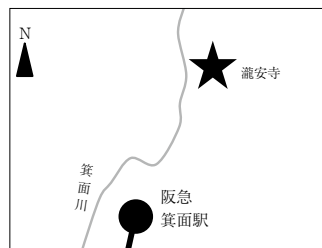
蛭狩 増田 禾絵さん

メッセージ:旅館「河鹿荘」の風格を残した和モダンなKAJIKASOUでの夕食後、滝道をぶらぶら蛭狩。車を使わず電車と徒歩で手軽に季節を楽しむ。命いっぱい愛を語る姿を日本の美しい言葉とともに味わってほしい。



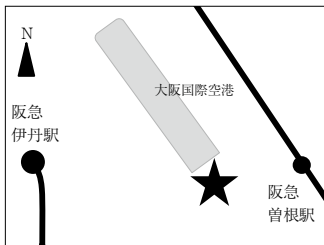
修業の時 大山 照美さん

メッセージ:これは関西一円の山伏が集まり一年の修行を終えた儀式(戸開式)の写真です。(4月15日開戸式、11月7日戸閉式)毎年箕面駅前より山伏大行列の練り歩きと境内の大護摩供が必見です。ぜひ一度見学してください。



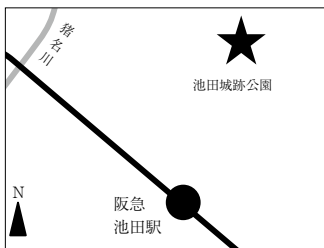
練炭ジェット **印南 勉さん**

メッセージ:頭の上すぐ近くを飛行機がおりてくるなんてびっくりするけど楽しくなる。昼も良いけど夜になると街灯りがキラキラして美しさが増す。離陸直前、エンジンが赤くなる練炭ジェットを運良く撮影できた。



池田城跡公園 **佐々木 幹夫さん**

メッセージ:室町時代～戦国時代にかけて池田市域一帯を支配していた池田氏の居城跡地を公園として整備、美しい庭園や櫓からの眺めはとても素晴らしい。近くには逸翁美術館もあって、近場のおすすめスポットです。

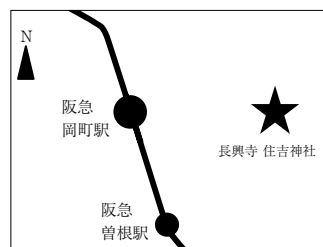




夏越祭(なごしさい)

後藤 鐵郎さん

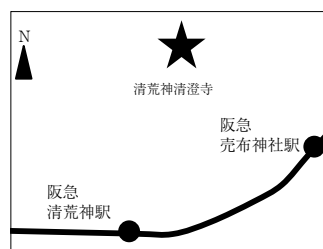
メッセージ:長興寺住吉神社で毎年7月31日に行われる夏越祭の神事。神楽奉納もあり巫女さんの動きが美しい。水を思うままに操る。これも日本の文化伝統。



厄除け火箸の山

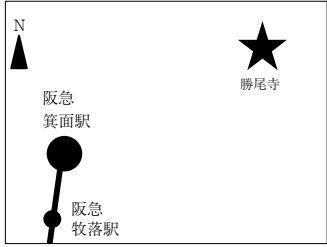
西村 俊裕さん

メッセージ:厄年にお祀りしていた厄除け火箸の納所される場所。山積みされた姿は壮観です。日本人の思いが脈々と重なっているようで、ここがいっぱいになれば新聞社を介して、社会に還元されるそうです。



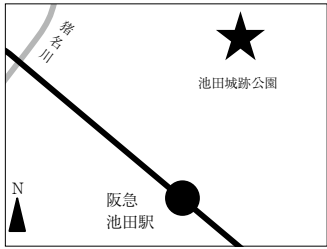
勝ちダルマ 花井 和夫さん

メッセージ:勝尾寺には、すべては自分に勝つためにという
ことで、願いの叶った勝ちダルマが奉納されています。



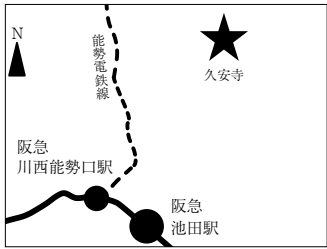
池田城前でのヨサコイ 藤本 勉さん

メッセージ:池田城跡で春に見たバサラの宴、そのイ
ベントの中の一つ、よさこいフェスティバルの絵です。池
田城の前でのパフォーマンス、華やかさ満開でした。



久安寺のあじさい 鳴石 典央さん

メッセージ:関西花の寺、25ヵ所の第12番。秋は紅葉が
美しく、6月から紫陽花が美しい。池に浮かぶ水面を染
める鮮やかなあじさいの花が、雨と相まって幻想的な光
景が見られます。

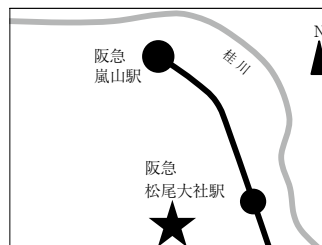




鬼の舞

小巻 真司さん

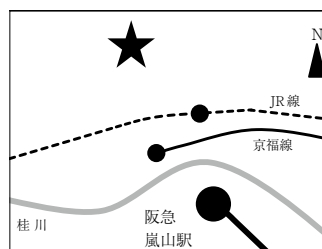
メッセージ:毎年、節分の日に松尾大社に奉納される島根県益田市の民俗無形文化財に指定された石見神楽です。目の前で展開される鬼たちの舞。是非、日本の伝統文化にも触れて欲しいですね。



愛宕古道街道灯し

松山 俊弘さん

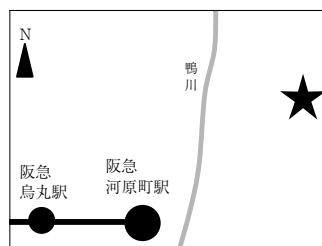
メッセージ:京の夏の夜。化野念仏寺の千灯供養と時期を合わせ、清凉寺から愛宕一の鳥居までの旧愛宕街道に子供の描いた行灯やジャンボ行灯が飾られる夏の風物詩です。



小川のせせらぎと桜

居村 倫也さん

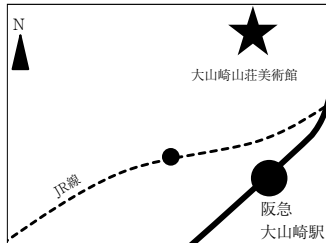
メッセージ:三条神宮道裏の小川の桜は、私達の心をいやしてくれます。小川のせせらぎは、立ち止まっていつまでも見ていたい光景です。



「魅惑の美術館」

若林 勇さん

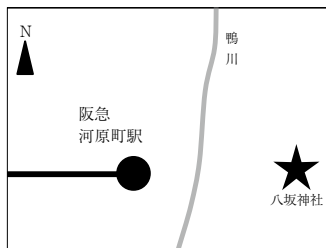
メッセージ:「大山崎山荘美術館」は私のお気に入りの場所である。内観も外観もアンティーク風で、いつ来ても飽きない素敵な場所なので絵を描いてみた。



祇園囃子

前川 敏夫さん

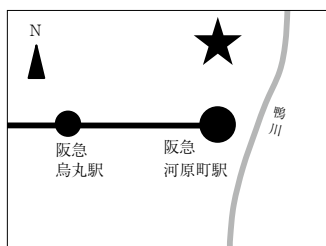
メッセージ:東山花灯路のイベントで見た、女性だけの祇園囃子の演奏集団。祇園まつりの時に響く音色とは、一味ちがったステージ音楽としての祇園囃子も素敵でした。



Healing of summer

福留 愛実さん

メッセージ:部活で京都に写真を撮りに行った時、歩き疲れていたのに、見た瞬間、心が落ちついて癒やされました。

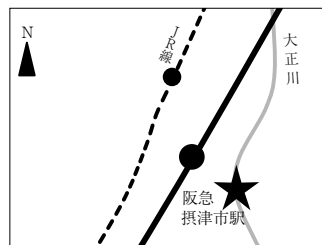




川の歓声

秋田 剛平さん

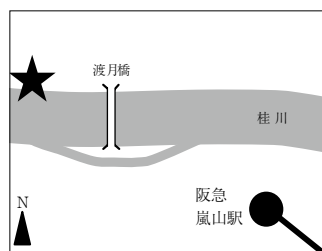
メッセージ: 摂津市の春の風物詩である大正川の鯉のぼりは、すべて市民有志の方の手作りでカラフルです。期間中には「子供フェスティバル」も開催され、模擬店などで賑わいます。



三船祭

大山 照美さん

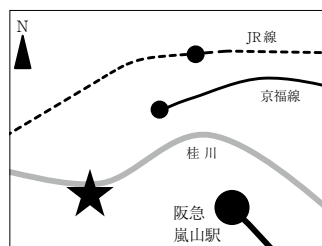
メッセージ: 嵐山大堰川一帯で平安時代の船遊びを再現した祭り伝統芸能が船上で披露され扇流しが行われ雅な平安文化を味わうことができます。清少納言に扮したあでやかな十二単姿は必見です。5月15日は嵐山公園へ足を運んでください。



深秋の嵐山

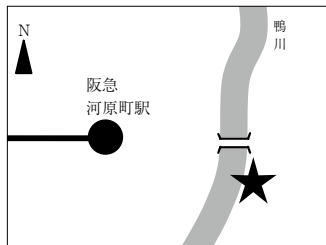
金岡 明光さん

メッセージ: もみじの色がすばらしい嵐山、船にのっての風景もまたちがう景色、嵐山の屋形船もいい、秋の京都もいいね。



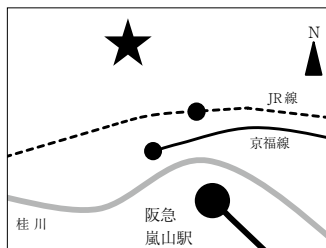
祇園祭の夜 水上 毅さん

メッセージ:祇園祭の時期になると、川床でくつろぐ人達や祇園囃子を奏でる人達でにぎやかな様子が鴨川で見ることができる。



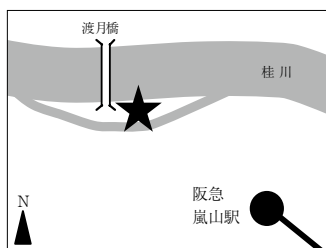
阪急嵐山駅から奥嵯峨 石村 晃一さん

メッセージ:嵐山駅から歩いてゆくと、街道筋の京都らしい土産屋さん。



暖かいね二人なら 谷藤 由紀夫さん

メッセージ:京の冬の風物詩としてすっかり定着した嵐山花灯路、中之島公園の行灯、二人で愛でれば灯りが温もりに変わっていく。そんな気がする1シーンでした。

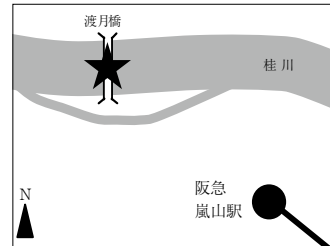




水墨画の世界

佐藤 孝さん

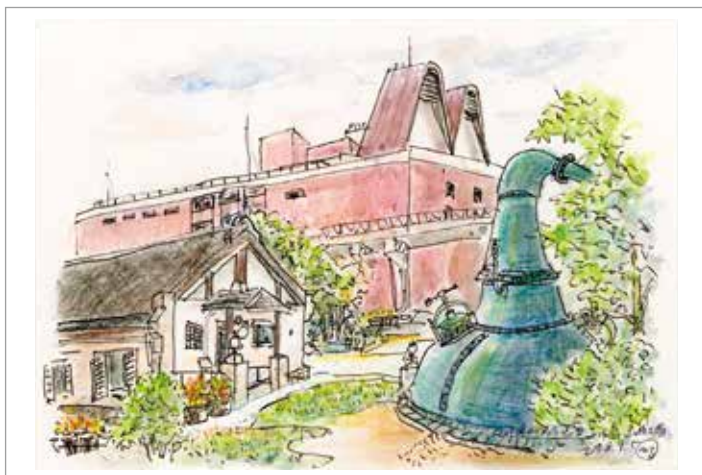
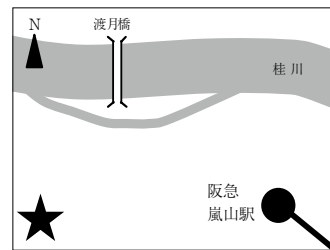
メッセージ: 京都は四季折々の風景で訪れた人を魅了しますが、おすすめは水墨画のような景色が見られる冬の雪の日です。外国の方に人気のある渡月橋も水墨画になり、凛とした空気が普段見慣れた風景と違う雰囲気を感じさせます。



楽園

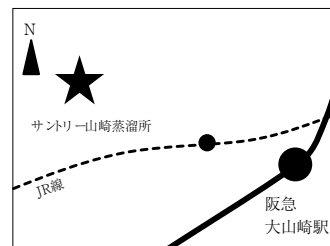
合田 将史さん

メッセージ: 嵐山の渡月橋の横より小高い山に登って行きます。20分程度で嵐山モンキーパークに着きます。山頂には猿が沢山います。7月頃は子猿のいちばん多い時です。親子のしぐさが可愛ですよ。山頂からも京都市街が展望できます。



山崎サントリーウイスキー蒸溜所 佐々木 幹夫さん

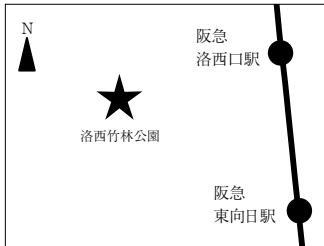
メッセージ: 昔、水生野(みなせ)と呼ばれた名水の地、かつては千利休が茶室を設けた場所。3つの川が合流する為、霧が立ちこのウイスキーづくりに適している。1923年日本初のモルトウイスキー蒸溜所として開設された。



竹の世界

秋田 剛平さん

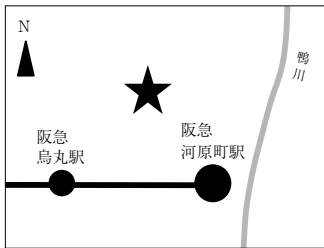
メッセージ:洛西竹林公園は、色々な珍しい竹や、竹を使った工芸品が展示されています。竹は古くから日本人の生活、産業、芸術などに関連を持っていますが、園内は遊歩道を散策しながら竹の生態を観察することができます。



老舗のこだわり

小倉 康夫さん

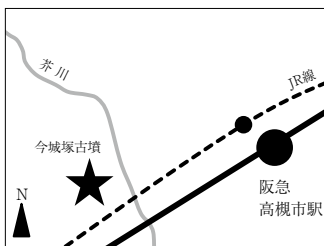
メッセージ:京扇子の製造販売専門店白竹堂、享保3年創業300年の歴史を誇る。日本情緒あふれる京扇子が多数展示され用途別の図柄や色どり等多種多用揃えられ和雑貨と共に日本の美にふれあえる。海外の人のお土産選びに最適。



古代を知る

大山 朝子さん

メッセージ:日本の大昔のお話しに出てくるハニワ。子供達はめずらしそうに、きっとおもしろいと思ったのでしょうか。現実の世界との違い、豊かな時代に生きる幸せを大切にと思う。この作品は孫子達といっしょに見学した写真です。

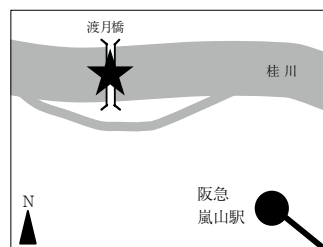




寒修行

谷藤 由紀夫さん

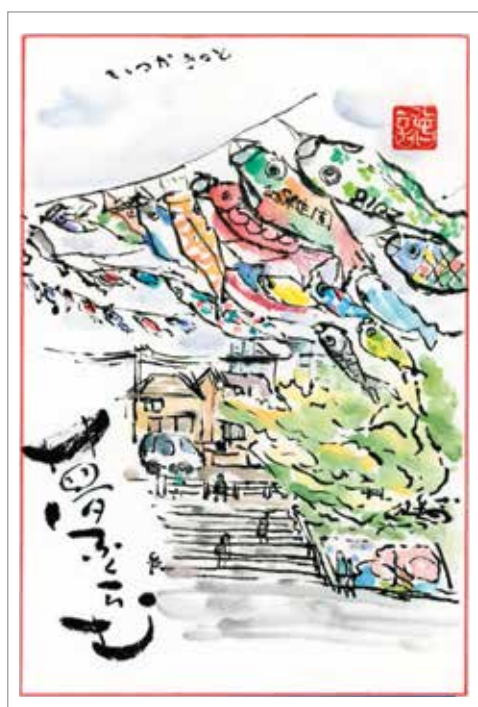
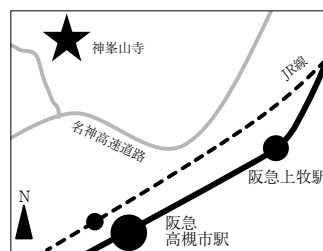
メッセージ: 厳冬の朝、渡月橋を行く托鉢僧の方々に合掌と一礼をしつつシャッターを切らせていただきました。



火渡り

羽嶋 和子さん

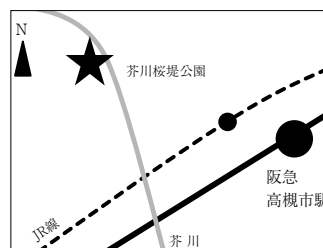
メッセージ: 神峯山寺の護摩供養、火渡りの行事。雪の舞う中、雨降る中で行われました。祈りを込めて、火渡りする幼い少女に感動しました。

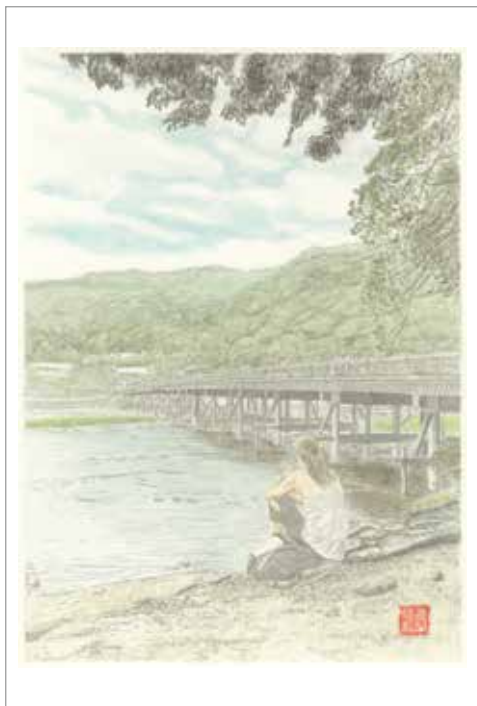


夢に向かって

増田 禾絵さん

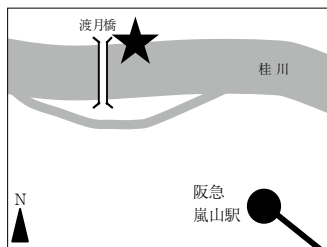
メッセージ: 芥川沿いにこの時期だけ突然現われるカラフルな鯉のぼり。幾何学的模様から子供たちの手形や似顔絵の模様まで、思わず笑顔に。雨の日も風の日もあるけれど子供たちが夢に向かって、たくましく泳いでいるようです。





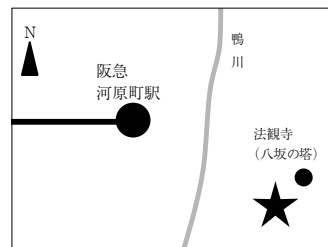
渡月橋 **週末絵画倶楽部(PN)さん**

メッセージ: 渡月橋の北東部には小さな木陰があり、ちょっとひと息つける場所になっています。この日はロードバイクでサイクリング中のようないでたちの外国人女性が、渡月橋と嵐山を眺めながら休憩されていました。



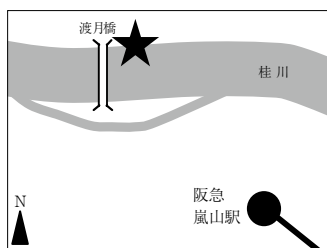
かんぱんむすめ **馬場 理子さん**

メッセージ: 「どこへ行けば舞妓さんに会えますか?」と私はカメラを持った外国人観光客に尋ねられたことがあります。実は私達日本人でも彼女達を見つけるのは至難の技ですが、そんな中でも出会えた感動を表現しました。



紅染の渡月橋 **金岡 明光さん**

メッセージ: 嵐山のシンボルであり、映画やテレビにも多用され、海外からの客も多い。ライトアップは10年前くらいからやっていて、冬の京都もいいですね。そうだ、渡月橋に行こう。



第1回 阪急電鉄開業100周年記念 阪急ええはがきコンテスト 宝塚線・箕面線

阪急電鉄開業100周年を記念して、創業当時の路線である宝塚線・箕面線沿線を対象に開催。

作品募集期間：2010年2月1日～5月7日

対象路線：宝塚線、箕面線

対象エリア：大阪市(北区・淀川区)、豊中市、池田市、箕面市、川西市、宝塚市

審査員：有川浩先生(作家)、有野永霧先生(写真家)、井上正三先生(画家)、杉本容子先生(大阪ええはがき研究会)、茶谷幸治先生(イベントプロデューサー)

入賞作品：100作品

関係組織・団体：主催/阪急電鉄株式会社

共催/阪急阪神ホールディングス株式会社

後援/大阪府、兵庫県、大阪市、豊中市、池田市、箕面市、川西市、宝塚市、池田市観光協会、箕面市観光協会、川西市観光協会、宝塚市国際観光協会

協力/大阪ええはがき研究会



最優秀賞 写真部門
五月のレンゲ畑 當山 悦司さん



最優秀賞 絵画部門
豊南市場 内橋 未央さん



PRポスター



開業100周年記念シンポジウムでの表彰式
(宝塚ホテル)



入賞作品の展示
(梅田駅1F中央WEST広場)

第2回 映画「阪急電車 片道15分の奇跡」ロードショー記念 阪急ええはがきコンテスト 今津線

映画「阪急電車 片道15分の奇跡」のロードショーを記念して、映画の舞台である今津線沿線を対象に開催。

作品募集期間：2011年3月25日～6月3日

対象路線：今津線

対象エリア：宝塚市、西宮市

審査員：有川浩先生(作家)、有野永霧先生(写真家)、井上正三先生(画家)、杉本容子先生(大阪ええはがき研究会)

入賞作品：54作品

関係組織・団体：主催 / 阪急電鉄株式会社

共催 / 阪急阪神ホールディングス株式会社

後援 / 兵庫県、宝塚市、西宮市

大阪ええはがき研究会

協力 / 西宮市宝塚市内郵便局、阪急西宮ガーデンズ



最優秀賞 写真部門
マイ・ウェイ 本城 利彦さん



最優秀賞 絵画部門
ビール工場 奥村 誠さん



PRポスター



入賞作品の展示
(西宮北口駅カリヨン広場)

第3回 阪急ええはがきコンテスト 京都

初めて京都方面を対象にしたコンテスト。

作品募集期間：2012年3月27日～5月31日

対象路線：京都線(京都府域)、嵐山線

対象エリア：京都市(中京区・東山区・下京区・右京区・西京区)、向日市、長岡京市、大山崎町

審査員：有野永霧先生(写真家)、井上正三先生(画家)、杉本容子先生(大阪ええはがき研究会)、土居好江先生(NPO法人遊悠舎京すずめ)

入賞作品：102作品

関係組織・団体：主催/阪急電鉄株式会社

共催/阪急阪神ホールディングス株式会社

後援/京都府、京都市、向日市、長岡京市、大山崎町

協力/大阪ええはがき研究会、株式会社阪急コミュニケーションズ



最優秀賞 写真部門
一本の橋 水上 毅さん



最優秀賞 絵画部門
京の風情 納涼床 中村 勇人さん



PRポスター



入賞作品の展示
(梅田駅1F中央WEST広場)

第4回 阪急ええはがきコンテスト京都線part2

西山天王山駅が2013年12月に開業したことを記念して開催。

作品募集期間：2013年7月8日～9月30日

対象エリア：西山天王山駅を中心とする京都線沿線地域(向日市域～高槻市域)、西山天王山駅で直結する京都縦貫自動車道沿道地域(亀岡市、京都市(西京区・伏見区)、八幡市、久御山町)

審査員：有野永霧先生(写真家)、井上正三先生(画家)、杉本容子先生(大阪ええはがき研究会)

入賞作品：75作品

関係組織・団体：主催/阪急電鉄株式会社

共催/阪急阪神ホールディングス株式会社

後援/京都府、大阪府、向日市、長岡京市、大山崎町、高槻市、島本町

協力/大阪ええはがき研究会、株式会社阪急コミュニケーションズ



最優秀賞 写真部門
春風 鳴瀬 博美さん



最優秀賞 絵画部門
保津川下り 平岡 正己さん



PRポスター



入賞作品の展示
(梅田駅1F中央WEST広場)

第5回 阪急ええはがきコンテスト阪急京都線part3&千里線

京都線(大阪府域)と千里線でコンテストを開催。

作品募集期間: 2014年3月27日~5月31日

対象路線: 京都線(総持寺~南方)、千里線(北千里~天神橋筋六丁目)

対象エリア: 茨木市、摂津市、吹田市、大阪市(東淀川区、淀川区、北区)

審査員: 有野永霧先生(写真家)、井上正三先生(画家)、杉本容子先生(大阪ええはがき研究会)

入賞作品: 55作品

関係組織・団体: 主催/阪急電鉄株式会社

共催/阪急阪神ホールディングス株式会社

後援/大阪府、茨木市、摂津市、吹田市、大阪市

協力/大阪ええはがき研究会、株式会社阪急アドエージェンシー



最優秀賞 写真部門
見守る太陽の塔 常藤 光一さん



最優秀賞 絵画部門
懐古風景 居村 倫也さん



PRポスター



入賞作品の展示
(梅田駅1F中央WEST広場)

第6回 阪急ええはがきコンテスト 神戸線・伊丹線・甲陽線

神戸線・伊丹線・甲陽線でコンテストを開催。

作品募集期間：2015年4月15日～8月31日

対象路線：神戸線(神崎川～神戸三宮)・伊丹線(塚口～伊丹)・甲陽線(夙川～甲陽園)

対象エリア：大阪市淀川区、豊中市、尼崎市、伊丹市、西宮市、芦屋市、神戸市(東灘区、灘区、中央区)

審査員：有野永霧先生(写真家)、井上正三先生(画家)、杉本容子先生(大阪ええはがき研究会)

入賞作品：61作品

関係組織・団体：主 催 / 阪急電鉄株式会社

共 催 / 阪急阪神ホールディングス株式会社

後 援 / 大阪府、兵庫県、大阪市、尼崎市、伊丹市、西宮市、芦屋市、神戸市

協 力 / 大阪ええはがき研究会、株式会社阪急アドエージェンシー



最優秀賞 写真部門
夕暮れに異人館から望む 高橋 一吉さん



最優秀賞 絵画部門
夙川の夜桜 平野 美保さん



PRポスター



入賞作品の展示
(梅田駅1F中央WEST広場)

第7回 阪急ええはがきコンテスト

～あの人に伝えたい、阪急沿線の日常～をテーマにコンテストを開催。

作品募集期間：2016年4月1日～8月31日

対象エリア：全線

審査員：有野永霧先生(写真家)、井上正三先生(画家)、杉本容子先生(大阪ええはがき研究会)

入賞作品：75作品

関係組織・団体：主 催 / 阪急電鉄株式会社

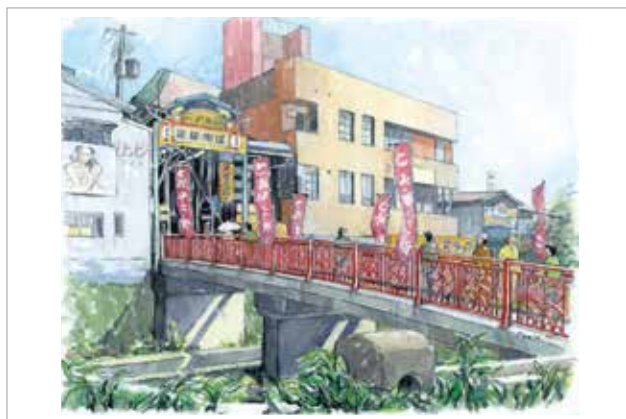
共 催 / 阪急阪神ホールディングス株式会社

後 援 / 大阪府、京都府、兵庫県

協 力 / 大阪ええはがき研究会、株式会社阪急アドエージェンシー



最優秀賞 写真部門
春のうらのの夙川 中西 宏明さん



最優秀賞 絵画部門
石橋商店街 長坂 富雄さん



PRポスター



入賞作品の展示
(梅田駅1F中央WEST広場)

第8回 阪急ええはがきコンテスト

～阪急沿線の美しく、幸せいっぱいな風景～をテーマにコンテストを開催。

作品募集期間：2017年4月1日～8月31日

対象エリア：全線

審査員：有野永霧先生(写真家)、井上正三先生(画家)、杉本容子先生(大阪ええはがき研究会)

入賞作品：76作品

関係組織・団体：主 催 / 阪急電鉄株式会社

共 催 / 阪急阪神ホールディングス株式会社

後 援 / 大阪府、京都府、兵庫県

協 力 / 大阪ええはがき研究会、株式会社阪急アドエージェンシー



最優秀賞 写真部門
嗚呼 小森 ゆずさん



最優秀賞 絵画部門
みんな帰り道 中川 歩美さん



PRポスター



入賞作品の展示
(梅田駅1F中央WEST広場)

審査員の先生方からのメッセージ

コンテストの審査員の先生方からいただいた、コンテストを振り返ってのメッセージをご紹介します。

有野永霧先生（写真家）

みなさんが応募された「海外の人に教えたい！とっておきの場所」に選ばれた主なものは、多くの人が出かける観光地や、繁華街が多く、またインスタ映えしそうなものや場所が目立ちました。みなさんも苦労しながらも楽しまれた様子です。その中でも日本の伝統文化を外国の人に教えたいとの思いを特に強く感じました。この分野での力作も多く集まりました。祭りはたまたま出会うとすごくラッキーな気持ちになるものです。今回は祭りの写真が上位を占めましたが、他にも優れた作品や楽しい写真が多くありました。住民の方が興味をもつものはだいたい外国人も興味をもってもらえるものが多いようです。ということは外国人と日本人の区別なく面白い写真にすれば、誰もがもっと知りたくなり、とっておきの場所になるようです。さあ、私たちもさらに魅力のあるとっておきの場所を発見しましょう。

■有野永霧(ありの えいむ)先生プロフィール

尼崎市生まれ。大阪学芸大学(現大阪教育大学)卒業。写真家。元大阪芸術大学教授。1981年タイムライフ写真年鑑新人賞、1985年尼崎市民芸術奨励賞、1994年第19回伊奈信男賞、2002年尼崎市民芸術賞、2017年尼崎市文化功労賞受賞。国内外で多数の個展と写真展を開催し、写真集に「虚実空間・都市」、「都市からのメッセージ」、「都市との対話」、「虚実空間・空蟬の都市」、「虚実空間・空蟬の風景」、「有野永霧との対話」、「日本人景 温泉川」などがある。

井上正三先生（画家）

改めて海外の人に教えたい場所と言われると、さて、幾つもの候補地が頭に浮かび選択に迷われた方もおられたと思います。選択の末に絞り込んだ場所であったことを想像させる作品もありました。いずれにしても応募作品には海外の人に伝えたいという強い思いが溢れていたと思います。又、風景そのものだけでなく、その地の独特の風情や日本にしかないであろう人の営みを表現された作品もあり、海外に伝えたい気持ちに共感する思いを持ちました。応募作品は切り絵、デザイン画、ペン画、水彩画、クレヨン、パステルなど多岐にわたった画材で表現されており、その場所に相応しい画法を選ばれていた作品も数多くありました。惜しくも入選されなかった作品にも魅力ある作品が多くあり、決断の苦しさを味わった審査であったことを申し添えておきたいと思います。

■井上正三(いのうえ しょうぞう)先生プロフィール

1944年生まれ、芦屋市在住。現在、水彩画教室 i 楽彩主宰。JR西日本ジバング倶楽部、谷崎潤一郎記念館文学館講座、よみうり文化センターなど、大阪、阪神間で絵画教室講師を務める。著書に水彩画集「風のたよりに彩りそえて」(日貿出版社)、井上正三画集「具象と抽象の狭間で」(幻冬舎)がある。

杉本容子先生（大阪ええはがき研究会）

海外の方にも教えてあげたい、というテーマであるからには、やはり伝統的な日本の文化が中心の作品が多いだろうなという予想でした。入賞作品を見渡すと、新しく阪急沿線に生まれた魅力が多くみられ、いい意味で裏切られた気がします。

来年で10回目を迎えるええはがきコンテスト。審査の際にも、その年の応募作品についてだけではなく、これまでの入賞作品の積み重ねの上で今年はどうか、ということが議論されることが増えました。来年も、その先も、ええはがきコンテスト入賞作品というかたちで、阪急沿線のまちの魅力がどんどん発見されていくことが楽しみです。コンテストの期間だけでなく、普段からまちに目を向けて、まちの様相の変化に気づく人が多くなれば、おのずとまちの魅力にも磨きがかかっていくと期待しています。

■杉本容子(すぎもと ようこ)先生プロフィール

大阪ええはがき研究会メンバー。(株)ワイキューブ・ラボ代表取締役。都市魅力プランナー。大阪大学大学院工学研究科環境工学専攻博士前期課程修了。工学博士。杜の都仙台生まれ、白砂青松湘南育ち、水都大阪に生きるまちづくり好き。水辺の魅力づくりや歴史的環境のまちづくりを得意とし、まちをおもしろくするNPO活動にも積極的に参加。民間特別任用により大阪府都市魅力創造局立ち上げの政策企画を担当した経験をもつ。現在は一児の母とまちづくりコンサルタントの二足の草鞋で奮闘中。

第9回 阪急ええはがきコンテスト

～海外の人に教えたい!とっておきの場所～ 入賞作品集

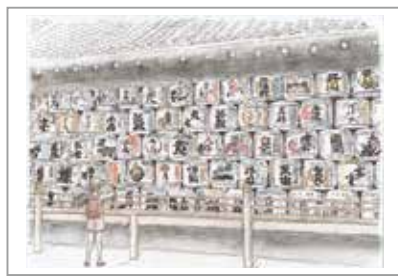
発行 2018年12月

編集・発行 阪急電鉄株式会社 交通プロジェクト推進部
大阪府大阪市北区芝田1-16-1

E-mail hc-eehagaki@hankyu-group.jp

URL <http://www.hankyu.co.jp/eehagaki/>





私たちは、未来へつなぐ
「環境づくり」と「人づくり」に貢献します。